

# 加美町町民満足度調査結果

平成25年12月

加美町企画財政課

# 目次

調査の概要	1
調査結果	4
回答者の特性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 居住地区	4
(4) 居住年数	5
(5) 世帯人数	5
(6) 世帯主との続柄	6
(7) 職業	6
質問1. あなたは加美町が好きですか？	8
質問2. 加美町のどんなところが好きですか？	10
質問3. 平成15年4月1日に「加美町」となったことについて	
(1) 合併により「加美町」となってよかったですか？	12
(2) 合併して良かったと思われることはどんなことですか？	14
(3) 合併して悪くなったと思われることはなんですか？	16
質問4. 町の職員の対応について	
(1) 役場に来庁した際、又は役場に電話した際の職員の対応は、合併前と比較していかがですか？	18
(2) 合併前より職員の対応が良くなった事、悪くなった事、又はこれから町の職員に対する要望等について（自由記述）	20
質問5. 「加美町総合計画」（計画期間：平成17年度～平成26年度）の6つの政策体系について	
「Ⅰ. 自然と共生する地球にやさしいまち」について	33
「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について	45
「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について	57
「Ⅳ. 魅力・やりがいでのぎわいのあるまち」について	65
「Ⅴ. だれもが楽しく学べるまち」について	77
「Ⅵ. 住民と行政の協働による自立するまち」について	89
質問6. アンケートの内容以外で、これまでの10年間における加美町のまちづくりや、10年後の加美町のあるべき姿等、あなたが思うこと、期待することについて（自由記述）	100

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

町民の意識、動向並びに町の施策・まちづくりに対する要望等を把握し、町民との協働によるまちづくりを推進するため、「新町建設計画」並びに「第1次加美町総合計画」に基づく施策に対する満足度、重要度及び将来の課題を調査し、行政サービスの向上と「第2次加美町総合計画」策定の基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査対象

平成24年9月末現在の住民基本台帳を基に、満20歳以上の町民から無作為抽出した2,000人を対象とする。

【地区別】 中新田地区 1,071名 小野田地区 526名 宮崎地区 403名

【男女別】 男 1,051名 女性 949名

地区	中新田地区			小野田地区			宮崎地区			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
20歳代	110	112	222	54	43	97	41	40	81	205	195	400
30歳代	121	109	230	56	44	100	47	23	70	224	176	400
40歳代	128	96	224	55	48	103	37	36	73	220	180	400
50歳代	115	87	202	53	53	106	51	41	92	219	181	400
60歳以上	80	113	193	51	69	120	52	35	87	183	217	400
合計	554	517	1,071	269	257	526	228	175	403	1,051	949	2,000

### 3. 調査方法

無記名式・郵送による調査とする。

### 4. 調査期間

平成24年12月1日（土）～12月18日（火）

### 5. 調査票基本項目

#### (1) 基本的属性項目

性別、居住地区、職業、家族構成、居住年数等

#### (2) 基本的質問項目

加美町総合計画の施策の体系に基づくこれまでのまちづくり、町政についての満足度・重要度等の調査を行うこととし、以下の項目を基本に実施する。

#### 【調査区分】

- ① 自然と共生する地球にやさしいまち
- ② 健やかで元気あふれるまち
- ③ 安全で快適に暮らせるまち
- ④ 魅力・やりがい・にぎわいのあるまち
- ⑤ だれもが楽しく学べるまち
- ⑥ 住民と行政の協働による自立するまち
- ⑦ その他

## 6. その他

### (1) 基本的属性項目および基本的質問項目の数値等についての共通の基本的な事項

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。  
そのため、見た目の各比率を合計すると、全体の合計比率(単一回答であれば100%)をわずかに上下する場合があります。
- ② 基数となる数(各属性別の該当者数)を、「(n = ○○○)」として掲載しており、各比率はnを100%として算出しています。

### (2) 基本的属性項目の数値等についてのその他の基本的な事項

- ① 集計は、全体集計のみ行っています。
- ② 集計結果のグラフは、選択肢毎の構成比を表現した合計比率を100%とする円グラフとしています。

### (3) 基本的質問項目の数値等についてのその他の基本的な事項

- ① 集計は、全体・地区別・性別・年代別の各属性の別に行っています(ただし、複数回答可の質問(質問の終わりに「(3つまで選択)」とある問)では、全体集計のみとなっています)。
- ② 地区別・性別・年代別の集計では、地区・性別・年代の各属性が無回答だった方が含まれていないため、当該属性の基数となる数nを合算しても全体のnとは一致しません。
- ③ 質問の終わりに「(効果あり・効果なし)」等とある問には、肯定側質問の選択肢毎の回答数から否定側質問の選択肢毎の回答数を差引いた総合的な結果を、『差引き』として別途追加しています(ただし、全体集計の結果についてのみとなっています)。
- ④ 質問の終わりに「(3つまで選択)」とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問です。そのため、当該質問の合計比率は100%を超えたものとなっています。
- ⑤ 集計結果のグラフは、選択肢毎の構成比を表現した合計比率を100%とする帯グラフとし、地区別等の各属性の別にも比較できるよう、属性別の各グラフを上下に並べた形としています。ただし、合計比率が100%にならない上記「③」「④」の場合のみ、選択肢毎の回答数による棒グラフとしています。
- ⑥ 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。

### (4) 自由記述質問についての基本的な事項

- ① 年代毎に、地区・性別順に掲載しています。
- ② 上下を横線で挟まれた範囲が、同一個人の回答内容です。  
なお、回答内容が長文であった場合に、やむを得ず回答が2ページにまたがっている場合があります。
- ③ 一部、原文にはない補足を追記した箇所や、絵文字や波線等を別表現で代替した箇所があります。その場合には「《-》」と「-》」で挟んで記載しています。
- ④ 明らかに誤字と判断された箇所を訂正した場合、及び上記「③」の場合を除き、原則として原文のとおりに掲載しています。

【質問項目一覧】

基本項目	設 問	質問形式
1 基本的属性項目	(1) 性別	SA
	(2) 年齢	SA
	(3) 居住地区	SA
	(4) 居住年数	SA
	(5) 世帯人数	SA
	(6) 世帯主との続柄	SA
	(7) 職業	SA
2 基本的質問項目	質問1 加美町が好きか	SA
	質問2 加美町のどんなところが好きか	SA
	質問3 平成15年4月1日に「加美町」となったことについて	SA
	(1) 合併により「加美町」となってよかったか	SA
	(2) 合併して良かったと思われることはどんなことか	SA
	(3) 合併して悪くなったところはどんなことか	SA
	質問4 町の職員対応について	SA
	(1) 合併後の職員の対応はどうか	SA
	(2) 合併前より職員の対応が良くなったこと、悪くなったこと	自由記述
	質問5 「加美町総合計画」の政策体系について	
	「Ⅰ. 自然と共生する地球にやさしいまち」について	
	(1) 新エネルギー導入事業の取組についての満足度	SA
	(2) 町が行ってきた事業について (良かった・不満・今後)	SA
	「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について	
	(3) 医療・介護サービス、各種保健福祉サービスの取組についての満足度	SA
	(4) 町が行ってきた事業について (効果あり・効果なし)	SA
	(5) 保健医療福祉の分野で力を入れるべきと思う事業	WA
	「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について	
	(6) インフラ整備、危機管理体制の見直し等の取組についての満足度	SA
	(7) 震災時における町の対応について	SA
	(8) 自然災害が発生した場合どのような対応を期待するか	SA
	「Ⅳ. 魅力・やりがいでのぎわいのあるまち」について	
	(9) 地場産業の振興、観光産業の充実、企業の誘致等の取組についての満足度	SA
	(10) 農林商工業の施策について (良かった・良くない)	SA
	(11) 農林・商工の分野で、重点的に実施すべき施策について	WA
	「Ⅴ. だれもが楽しく学べるまち」について	
	(12) 生涯学習等の充実、芸術・伝統文化の保護継承活動等についての満足度	SA
(13) 町が行ってきた施策について (効果あり・効果なし)	SA	
(14) 生涯学習・学校教育分野で重点的に実施すべき施策について	WA	
「Ⅵ. 住民と行政の協働による自立するまち」について		
(15) コミュニティ活動等の推進、行財政改革の取組についての満足度	SA	
(16) 町が行ってきた施策について (効果あり・効果なし)	SA	
(17) 協働によるまちづくり分野で重点的に実施すべき施策について	WA	
質問6 これまでのまちづくりや10年後の加美町のあるべき姿等について (アンケートの内容以外で)	自由記述	

※SA：単一回答，WA：複数回答

## 調査結果

加美町町民満足度調査は、平成 24 年 12 月に満 20 歳以上の町民の中から無作為で抽出した 2,000 人を対象に実施し、923 人（回収率：約 46%）から回答が寄せられました。

調査結果は以下のとおりです。

### 回答者の特性

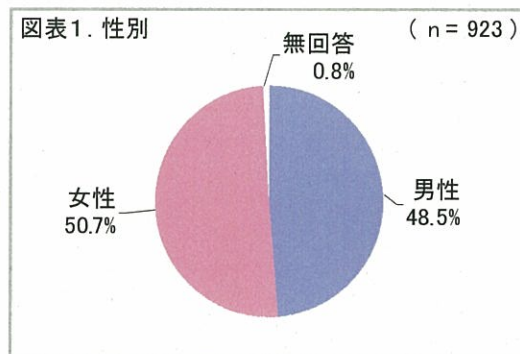
#### （1）性別

回答者 923 名のうち、男性が 448 人（48.5%）、女性が 468 人（50.7%）でした。

全体

	回答数(人)	割合
男性	448	48.5%
女性	468	50.7%
無回答	7	0.8%
計	923	100.0%

図表1. 性別



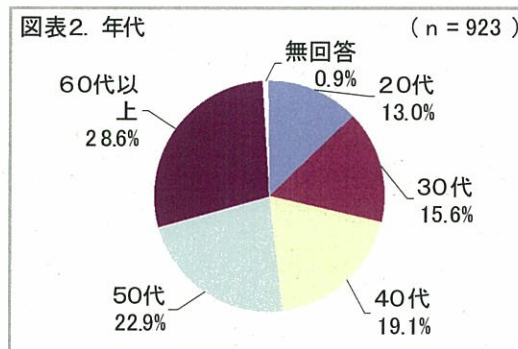
#### （2）年齢

回答者の年齢別構成比は、60 歳代以上が 28.6%と最も多く、最も少ないのは 20 歳代でした。

全体

	回答数(人)	割合
20代	120	13.0%
30代	144	15.6%
40代	176	19.1%
50代	211	22.9%
60代以上	264	28.6%
無回答	8	0.9%
計	923	100.0%

図表2. 年代



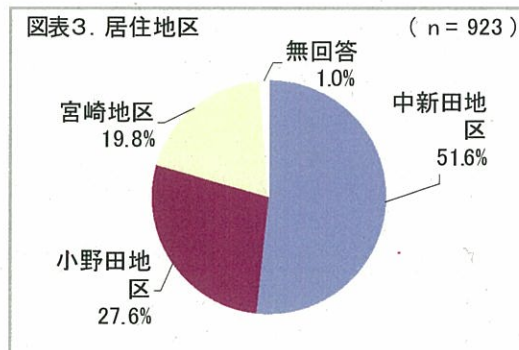
#### （3）居住地区

回答者の居住地区別構成比は「中新田地区」が 51.6%、「小野田地区」は 27.6%、「宮崎地区」は 19.8%でした。

全体

	回答数(人)	割合
中新田地区	476	51.6%
小野田地区	255	27.6%
宮崎地区	183	19.8%
無回答	9	1.0%
計	923	100.0%

図表3. 居住地区

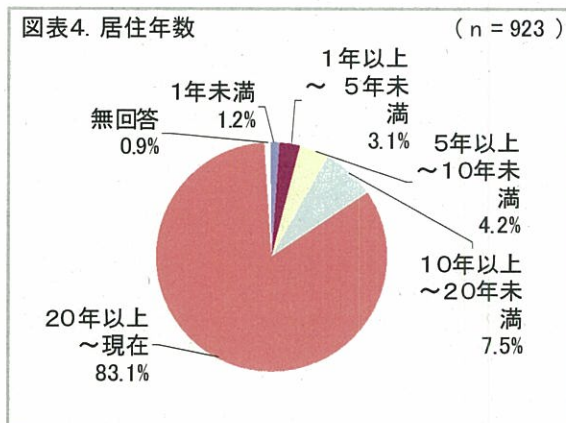


(4) 居住年数

回答者の居住年数は「20年以上～現在」が83.1%と最も多く、「1年未満」が最も少なく、1.2%でした。

全体

	回答数(人)	割合
1年未満	11	1.2%
1年以上～5年未満	29	3.1%
5年以上～10年未満	39	4.2%
10年以上～20年未満	69	7.5%
20年以上～現在	767	83.1%
無回答	8	0.9%
計	923	100.0%

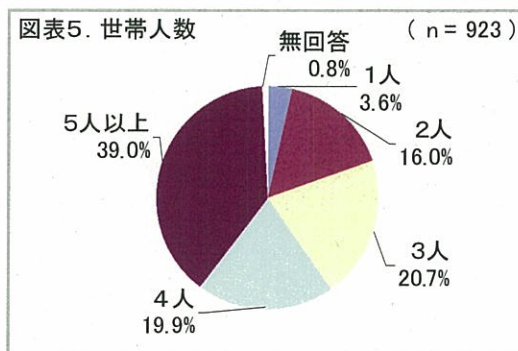


(5) 世帯人数

回答者の世帯人数は「5人以上世帯」が39.0%と最も多く、続いて「3人世帯」が20.7%、「4人世帯」が19.9%、最も少ないのは「1人世帯」で3.6%でした。

全体

	回答数(人)	割合
1人	33	3.6%
2人	148	16.0%
3人	191	20.7%
4人	184	19.9%
5人以上	360	39.0%
無回答	7	0.8%
計	923	100.0%

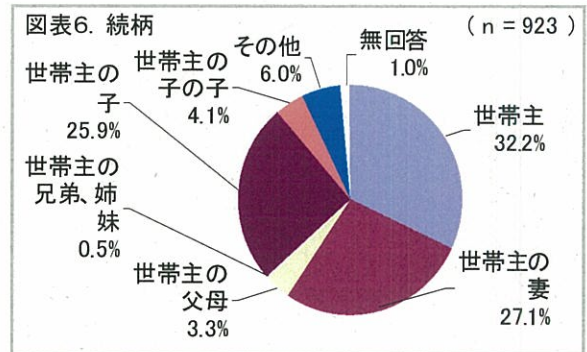


(6) 世帯主との続柄

回答者で最も多いのが「世帯主」の32.2%で、続いて「世帯主の妻」(27.1%)、「世帯主の子」(25.9%)の順となっております。

全体

	回答数(人)	割合
世帯主	297	32.2%
世帯主の妻	250	27.1%
世帯主の父母	30	3.3%
世帯主の兄弟、姉妹	5	0.5%
世帯主の子	239	25.9%
世帯主の子の子	38	4.1%
その他	55	6.0%
無回答	9	1.0%
計	923	100.0%



その他の内訳

	回答数(人)
世帯主の子の妻	37
世帯主の子の夫	4
世帯主の甥	1
世帯主の妻の弟	1
世帯主の子の子の妻	1
世帯主の孫	1
同居人	1
複数回答(世帯主・世帯主の妻・世帯主の父母)	1
未記入	8
計	55

(7) 職業

回答者の職業は「会社員・公務員・団体職員」が41.4%で最も多く、「学生」が最も少なく、1.0%でした。

全体

	回答数(人)	割合
農林業	65	7.0%
自営業	94	10.2%
会社員・公務員・団体職員	382	41.4%
パート・アルバイト	113	12.2%
主婦(夫)	95	10.3%
学生	9	1.0%
無職	125	13.5%
その他	32	3.5%
無回答	8	0.9%
計	923	100.0%

